

事務事業名	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課
政策名	(Ⅲ)支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》	所属G	子ども家庭支援G	課長名	高橋知恵美
施策名	(25)子育て支援の充実	担当者名	山根史朗	電話番号	0854-40-1067
目的	対 象 (子ども) A)安心して子育てができる。B)心身ともに健やかに育つ。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 5 0 1 項 目 中事業 中事業 1 0 3 0 1 0	(内線)	2262
基本事業名	(073)経済的支援の充実				母子父子福祉事業
目的	対 象 保護者等 意 図 子育てに係る経済的負担が軽減される。				ひとり親世帯臨時特別給付金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭については、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることを踏まえ、こうした世帯を支援するため、ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業を実施する 1. 基本給付 ① 令和2年6月分の児童扶養手当が支給される方 ② 公的年金等※を受給しており、令和2年6月分の児童扶養手当の支給が全額停止される方 ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準となっている方 ※1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円 2. 追加給付 上記、基本給付対象の①または②に該当する方のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、収入が減少した方 ※1世帯5万円 ひとり親家庭の生活実態が依然として厳しい状況にあるため、令和2年12月に再支給の決定がされ、再支給を行った。

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 1. 基本給付 ①の方 申請不要。8月17日、令和2年6月分の児童扶養手当を支給している口座に振り込み。 ②③の方 申請が必要。申請後、申請内容を確認して可能な限り速やかに振り込み。 2. 追加給付 申請が必要。申請後、申請内容を確認して可能な限り速やかに振り込み。 3. 申請期間 令和2年8月3日～令和3年2月28日	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) なし			
② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア 基本給付対象世帯	世帯			266	
イ 基本給付対象児童	人			393	
ウ 追加給付対象世帯	世帯			204	
エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	ひとり親世帯	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 児童扶養手当認定世帯	世帯			226	
			イ 児童扶養手当認定対象児童	人			333	
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	新型コロナウイルス感染症により、子育てに対する負担の増加や収入の減少など影響を受けやすいひとり親世帯の生活を支援する	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
			ア 支給世帯	世帯			215	
			イ 支給児童	人			330	
			ウ 給付額	千円			30,750	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
通信運搬費 47千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円			30,847	
手数料 50千円		千円				
扶助費 30,750千円		千円				
		千円				
		千円				30,847
	事業費計(A)	千円			30,847	
	正規職員従事人数	人			1	
	延べ業務時間	時間			500	
	人件費計(B)	千円			2,104	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			32,951	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭については、子育てに対する負担の増加や収入の減少などにより特に大きな困難が心身等に生じていることから、こうした世帯を支援するため、ひとり親世帯臨時特別給付金が支給されることとなった	国事業であるため、特になし	対象者からは、一定の評価が得られた。

事務事業名	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課
-------	-----------------	-----	--------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国事業であるため
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	理由	当初から、単年での実施であったため
	<input type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由	国事業であるため
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	国事業であるため
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	国事業であるため
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	低所得のひとり親世帯が対象であり、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭に対し、給付金を支給することにより、低所得のひとり親世帯を支援することができた。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
低下		×	×																	
令和2年度の単年度事業であるため廃止とする。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			